



自営スタイルで パティシエの夢と子育てを両立。 香川を子どもたちの「ふるさと」に

移住

CASE

1

1ターン

ファミリー

こうざい
香西

はるか
悠さん

From
千葉県

▼
To

高松市

家族構成：夫婦・子ども2人

移住年月：2018年

職 業：自営業（パティシエ）

ご 出 身：千葉県

コラム

私のお気に入り

自然の中で遊ぶ

「家族と過ごすドングリランド」

親子サークルに月1回参加することを楽しみに子どもたちと通っています。同じ高松市でもまったく違う風景が広がり、豊かな自然にいろんな刺激を受けています。



都会とは違うペースで働けるという気づき

千葉で生まれ、東日本を転々としながら育ちました。製菓学校を卒業後は、東京で約10年のパティシエ修行を経てカフェのスイーツ企画などを手掛けていました。その頃に夫と出会い、「結婚するなら転勤のない仕事に就いて、地域に根差した暮らしがしたい」と話し合っ

て移住した香川が、私にとって初めての西日本です。パティシエの業務は早朝から深夜に及ぶこともあり、家族を持つと仕事を続けるにいとわれます。東京で働いていた時は「ずっとこんな生活は無理だ」と私自身思っていましたから、他の仕事にも挑戦してみたんですが、やっぱりパティシエを諦めたくない！そう思っていたところへ、知人から空店舗活用の声が掛かって、イタリア菓子製造卸売の個人事業を始めました。都会での経験を活かし、自分でスケジュールを管理しながら働けるのであれば、長くキャリアを育めるのではないかと考え、まだまだ手探りですが、自分のスタイルで進んでいます。



子育てサポートを活用してメリハリある日々

今は自宅兼工房として、製造卸売のほかに保育園やコミュニティセンター、企業、学校向けの出張お菓子教室も実施しています。テーマは県産小麦「さぬきの夢」や地元食材を使った「さぬきのイタリア菓子」。いわゆるお菓子屋さんは世にたくさんありますから、私はその中で「こういうお菓子をつくってほしい」というリクエストに柔軟に答えるパティシエを目指したかったんです。

一方では、子どもが生まれて子育てとの両立を図る必要がありました。その点でも、自営業は自分でスケジュールを組み立てられるのがいい。土日は子どもたちと思い切り遊んで、オンオフを切り替えるようにしています。香川は公園や子育て施設が充実しているし、自然が豊かで刺激も多い。知り合いが増えていろいろサポートもしてくれるから、移住生活を淋しいと思ったことはありません。

移住暮らしを支える瀬戸の風景

結婚する1年ほど前、夫と一緒に初めて香川にきた時の、瀬戸大橋からの風景は今も忘れられません。オリーブやレモンの木が揺れる温暖な気候まで、イタリアで見た地中海にそっくり！こんなに素敵なおとこなんだと驚いたものです。私は両親の転勤が多くて「ふるさと」と呼べる土地にあこがれがあるので、子どもたちにとって香川がそうなればうれしく思います。

移住暮らしの中で「帰りたいな」と悩むことも一度や二度はあるかもしれませんが、「そうそう、これが気に入ってここに来たんだよね」と思えるものが身近にあると、長く住めるのではないのでしょうか。私にとってはそれが瀬戸内海の風景で、今も眺めるたびに心が落ち着きます。そういう小さな楽しみが、私たち一家の高松ライフを支えてくれているんです。

トピック | きもちたかまる! 「高松の子育て」
地域で子育てを応援

地域子育て支援拠点

31か所

市内には保育所や児童館、商業施設内など身近な場所に数多くの拠点が、移住者の皆さんが孤独を感じることをない子育てをサポートします。

地域子育て支援
コーディネーター

4か所に配置

子育てをしている中で、困ったり、迷ったりした時に「地域子育て支援コーディネーター」が必要な子育てサービスや、適切な機関とつなぐお手伝いをします。

保育所・幼稚園
こども園数

154か所

都会に比べて、待機児童数が少なく、共働きがしやすいことが魅力の一つ。さらに、園庭保有率が高く、子どもたちがのびのびと遊べる環境が整っています。

出生者数

2956人

高松市は全国平均に比べて出生率が高く、子育て支援が充実しているまちです。近隣市町を合わせて分娩取り扱い施設も多く、安心して子どもを産み育てられる環境が整っています。

中核市
5位

2023年3月31日時点

2024年7月時点

2024年7月時点

出展：令和5年度 都市要覧 2024年5月時点